

# 茨城県境町の子育て支援制度を視察研修 手厚い子育て支援に脱帽！



委員長 島田 榮一 委員 月田 均  
副委員長 三友美恵子 柳 沢 浩一  
宇津木 治宣

所管事務調査日：平成29年2月13日



子育て支援について調査



先進的な施策について学ぶ



学校敷地内の一体型児童クラブ

### ●境町の子育て支援制度

- ①小中学生の給食費半額  
(第3子は無料)
- ②紙おむつ等育児用品の  
購入助成 (最大3万円)
- ③医療費助成対象の拡大  
(満20歳(学生)まで)
- ④第3子以降に出生奨励金  
(最大50万円、保育料無料)
- ⑤大型・新規児童クラブ新設

### ●境町の財源確保の取り組み

こうした施策を実施するには、それに伴う財源が必要だが、境町の財政状況は平成26年度の段階では北関東でワースト1位であった。

平成26年に現橋本町長が就任して財政再建に取り組み、その手法は歳出削減ではなく、収入を増やす施策であった。主なものはふるさと納税の増加で、平成26年度3142万円だったものが、28年度は17億円を見込んでいる。あわせて人材育成にも力を入れ、プロフェッショナル職員の育成にも取り組んでいる。

### まとめ

角田町長の重点施策である給食費の補助について、先進的に取り組んでいる茨城県境町を視察した。

画期的な子育て支援は、100%ふるさと納税を財源に実施され、徹底的なマーケティングやニーズ把握を行うなど、目からうろこが落ちる思いであった。ふるさと納税制度は返礼品の競争が加熱して問題視されているが、スピード感をもってチャンスをもつる努力と姿勢に学ぶべき点が多かった。

玉村町も今後、子育て支援を今まで以上に充実するためには、財源を確保する努力が必要と感じた。